

栄冠めざして

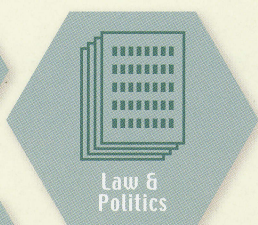
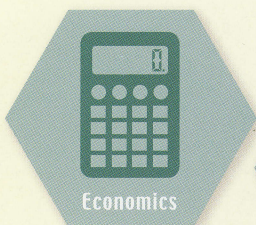
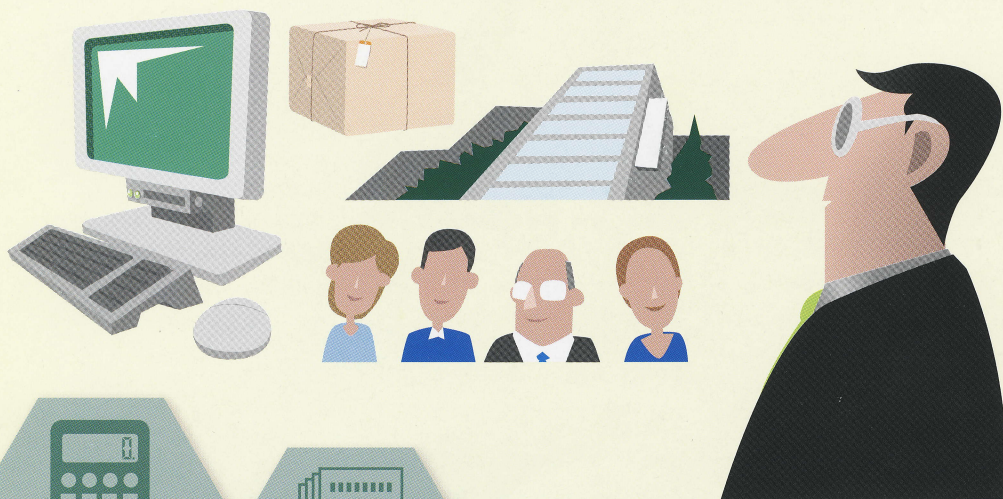
SPECIAL

特集号2008

社会科学系学部

法・政治・経済・商・情報・社会系学部

特集号



[社会科学系への招待]

- 学びの成り立ち
- カリキュラム紹介
- Q&A
- 知っ得!!キーワード

法学・政治学系 / 経済学系 / 経営・商学系 / 政策・社会系 / 国際系 / 情報系分野

河合塾 / 52school.com

立教大学 経済学部

会計ファイナンス学科 坂本ゼミ (分野: 税務会計論)

<http://www.rikkyo.ne.jp/web/04ba326a/stu/sakamotozemi.htm>

仲間たちと一緒に取り組み、
それを形にできたという経験や達成感が学生の財産

経済学部 坂本 雅士 准教授

Profile 明治大学商学部産業経営学
科卒。一橋大学商学研究科経営学及
び会計学専攻博士後期課程単位取得。
2002年4月より立教大学経済学部
で教鞭を執る。主要研究テーマは税
務会計論及び租税法。

2年次には、会計学の基礎を固め
「全国大学対抗簿記大会」に参加

坂本ゼミでは、会計学の主要な柱のひとつである「税務会計」をテーマに、2~4年次の約70名の学生が学んでいる。

「税務会計のゼミという、税理士や公認会計士をめざす学生ばかりが集まっていると思われるかもしれませんが、サークルや体育会活動に熱中している者、これから何かをはじめようと考えている者など、いろいろな学生が参加しています。」

坂本ゼミでは学年ごとに目標を設定し、その達成に向けて切磋琢磨していく。

2年次になると、税法や税務会計などの基礎知識をしっかりと養っていくが、その際に「簿記」は企業の経営成績と財務状態を明らかにする技法として必ず身につけなければならないものだ。

「簿記に対する興味と学ぶ意欲を高めるために、2年生は「全国大学対抗簿記大会」に参加しています。年に2回、春と秋に開催される大会で、全国から約120校の大学が参加しています。個人戦と団体戦があり、ゼミがスタートした2002年から、団体戦では過去に3回優勝し、個人戦でも5名の学生が優勝しています」と先生。

この大会に向けての指導や訓練は、サブゼミとして3、4年生が行っていく。目標をつくり計画を立てて、それに一緒に取り組んでいくことによる、先輩と後輩の絆の強さが坂本ゼミの特徴だ。

3年次には懸賞論文に応募
ディスカッションを重ねていく

ゼミ活動の中心は3年生だ。3年次の目標は、納税協会の懸賞論文に応募すること。そのために論文テーマを決め、必要な資料やデータを各自で分析し、論文にまとめて発表し、評価されるというところまでを目標としている。

「2月に冬合宿を行い、ここで論文のテーマを決めます。税務会計の領域で、未解決の問題をテーマにするのですが、そのために100本ぐらいの文献のレビューを行い、何が問題なのか、どこを論点としていくかを考えていきます。そして、4月から2、3週間で論点を練り、論文の構成(章立て)をし、グループごとに分担してレポートをまとめていきます。それをもとにゼミ生がディスカッションし、論文に仕上げていくのです。」

この一連のゼミ活動を通し、先生も驚くほど学生は思考力がつき、論理的な考え方ができるようになる。特に、コミュニケーション力や表現力の成長は目をみはるものがあるという。

進展するグローバル社会の中で、会計にも国際基準が求められている。大企業はそれに対応できても、中小、零細企業はそれに対応できない状況もある。国際社会の中で解決していかななくてはならない問題はたくさんあるのだ。

「大学で学んだことがすぐに役立つということは少ないかもしれませんが、それよりも、学

生時代に仲間たちと一緒に何かに取り組み、それをカタチにできたという経験や達成感が、これからの人生における大きな財産になると思います。」と坂本先生は話す。

ゼミ生の進路は多様だ。税理士や公認会計士をめざして猛勉強を始める者、大学院への進学をめざす者、一般企業への就職、公務員になる者と様々。「頑張っても、思うようにいかない学生もいます。それでも学生は、また何かにチャレンジしていきます。悔いのない学生生活を送ったからこそ、自信をもって社会に出ていくことができるのです。」

研究を通して人間を知り、社会を知る。これこそが大学でなくてはできないことなのだ。



約70人という大所帯。写真は、この春卒業したゼミ生

経済系

経営・商系

政策・社会系

Student Voice

経済学部
会計ファイナンス学科 4年
堤 拓樹さん
私立立教池袋高校卒

論文制作を通して、情報収集力がついたことを実感

1年次の基礎演習で「論文の書き方」の講義を受けたのが、坂本先生との出会いです。先生の人柄に惹かれたというのが坂本ゼミに入った正直な理由です。「簿記」もゼミに入って初めての体験でした。でも、実際に簿記の手法を学ぶことで、企業経営や社会のしくみがわかってきて会計学に興味をわいてきたんです。

3年次には、懸賞論文に取り組みました。毎日、無我夢中で、帰りが夜の10~11時になることもざらでしたが苦にはなりませんでした。私はゼ

ミ長だったので、いかにグループをまとめていくかということが大変でした。でも、今振り返ってみると、論文執筆を通して情報収集力が身についたことは実感できます。

私は、大学の飛び級制度を利用しているので、学部4年であると同時に大学院修士課程の1年でもあります。あと1年で修士課程を修了するので、その後は一般企業に就職して、大学で学んだことを活かしていきたいと考えています。

●学部所在地 : 東京都豊島区西池袋3-34-1 (池袋キャンパス)

●問い合わせ先 : 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 入学センター TEL03-3985-2447

●大学URL : <http://www.rikkyo.ac.jp/>

●携帯サイト:<http://www.rikkyo.ac.jp/m/>